

Elazzo

SEAT COVER



TOYOTA GR YARIS

専用シートカバー取付説明書

1142/1143

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

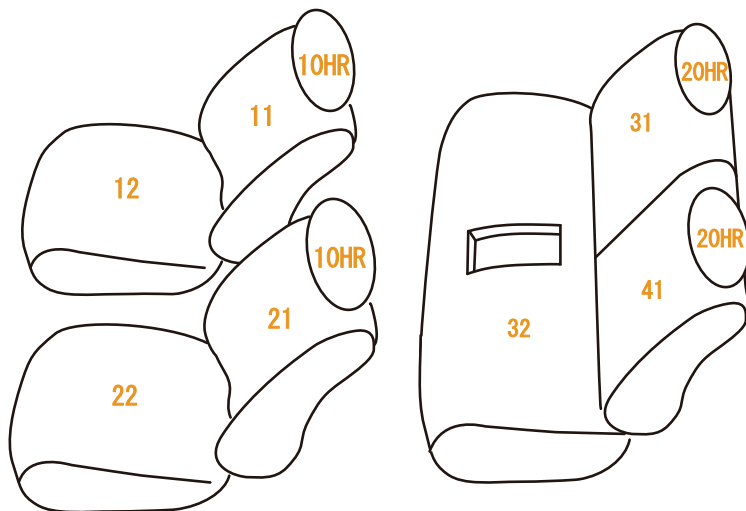
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
スポーツシートの1列目座面の装着方法	…> 5P～7P
スポーツシートの1列目背もたれの装着方法	…> 7P～9P
プレミアムスポーツシートの1列目座面の装着方法	…> 10P～12P
プレミアムスポーツシートの1列目背もたれの装着方法	…> 13P～16P
2列目座面の装着方法	…> 17P～20P
2列目背もたれの装着方法	…> 21P～22P
ヘッドレストの装着方法	…> 23P～24P
完成図	…> 25P～26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 27P～28P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。

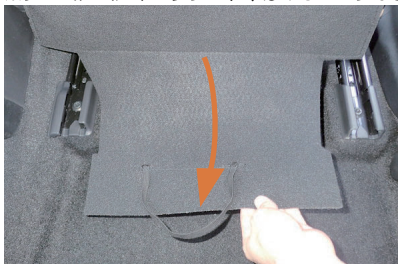


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

※当説明書のフロントシートは、シート形状が共通のカロラスポーツの画像を使用しています。
※プレミアムスポーツシート車は10ページからご確認ください。



- 1 フロントスポーツシートの座面です。背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムで引っ掛けて固定されているのでゴムの固定をほどき生地を外します。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーを前から後ろへかぶせます。



- 3 カバーの加工穴にシートベルトのバックルを通します。



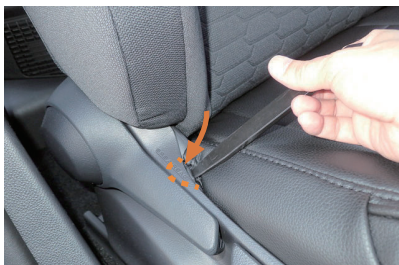
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭くなっています。シートを後ろ側に倒した状態で生地をできるだけ入れ込み、その状態でシートを起こすと生地が入り込みやすくなります。



- 5 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。図の右端に見えているサイドエアバッグの配線は、端に寄せて生地をかわして下さい。シートヒーターなどの配線がある場合は、生地に分かれ目でかわすようにして下さい。



- 6 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 7 シート外側の付け根辺りは、隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチック部の内側に沿わせるようにして生地を入れ込みます。



- 10 カバーの前側に付いている4本のベルトをシートの裏から背面へ通します。シート裏にはプラスチックパーツなどがあります。ベルトはできる限りプラスチックパーツ類の上側を通すようにして下さい。



- 8 シート内側のカバーは、シートに沿わせるようにして生地を入れ込みます。



- 11 シートの背面からベルトを引き出します。



- 9 入れ込んだ生地の端にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は、固定する前に保護テープを外して下さい。



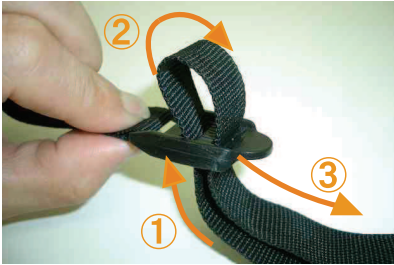
- 12 5番で引き出した生地に付いているバックルに、引き出したベルトを通します。

Step 2

1列目背もたれの装着方法

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 13 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするので注意して下さい。



- 14 シート背面は図のようになります。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 1 カバー背面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



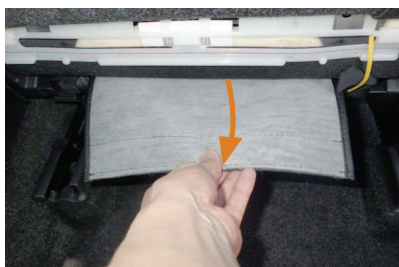
- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず片側の台座のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 3 生地伸びを利用して、台座を取り出します。



4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



5 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。配線部分に注意して生地を引き出して下さい。



6 カバーの両端に付いているマジックテープはシートの端からでは隙間が大変狭いためシートの中央に寄せて入れ込みます。この後マジックテープをシートの背面から引き出す際に、マジックテープがねじれていないように注意して下さい。



7 マジックテープをシートの背面中央部分から少し引き出して、図のように端に寄せて引き出します。ドア側のマジックテープはサイドエアバッグの配線の外側に来るようにして下さい。



8 5ページ1番で外した生地をシートの背面上側にめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。



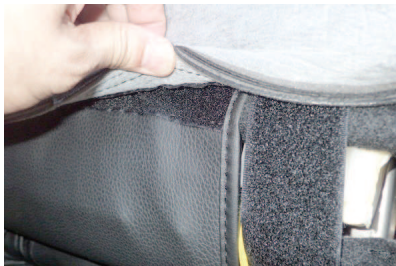
9 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろすようにして、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返し行って下さい。



- 10 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



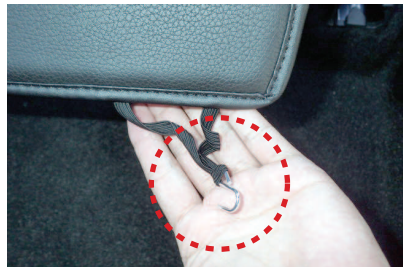
- 11 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



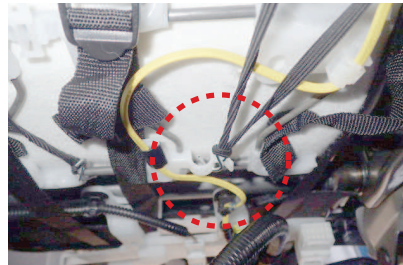
- 12 5番・7番で引き出した生地・マジックテープを、カバーの背面下とマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 13 カバー背面下のゴムに付属の金属フックを付けます。



- 14 金属フックはシート裏の1番で外した生地を固定していたフックに引っ掛けて固定します。

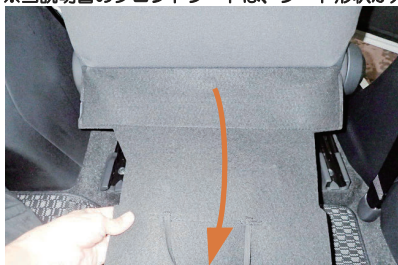


- 15 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 1

…> 1列目座面の装着方法

※当説明書のフロントシートは、シート形状が共通のカローラスポーツの画像を使用しています。



- 1 背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムで引っ掛けて固定されているのでゴムの固定をほどき生地を外します。



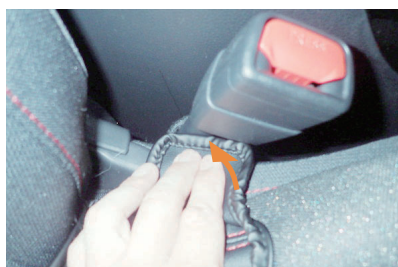
- 4 シート内側のカバーには図のようにマジックテープが付いています。※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して下さい。



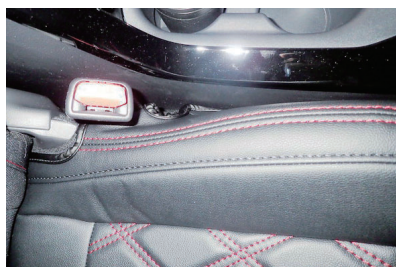
- 2 カバーを図のように裏返してシートのラインに合わせます。



- 5 コンソールとシートの隙間に生地を入れ込みます。生地の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 3 シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。シートベルトバックル部分は、シートベルトバックルの軸の内側に生地を入れ込みます。



- 6 シートの内側は図のようになりまります。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭くなっています。シートを後ろ側に倒した状態で生地をできるだけ入れ込み、その状態でシートを起こすと生地が入り込みやすくなります。



- 10 シート外側の付け根辺りは、隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチック部の内側に沿わせるようにして生地を入れ込みます。



- 8 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。図の右端に見えているサイドエアバッグの配線は、生地の分かれ目でかわすようにして下さい。またシートヒーターなどの配線がある場合も、生地の分かれ目でかわすようにして下さい。



- 11 カバーの前側に付いている4本のベルトをシートの裏から背面へ通します。シート裏にはプラスチックパーツなどがあります。ベルトはできる限りプラスチックパーツ類の上側を通すようにして下さい。



- 9 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 12 シートの背面からベルトを引き出します。



- 13 8番で引き出した生地が付いているバックルに、引き出したベルトを通します。



- 16 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 14 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするので注意して下さい。



- 15 シート背面は図のようになります。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



1 図のプラスチックパーツを外します。



2 プラスチックパーツを固定している固定具を先に確認しておきます。プラスチックパーツは図のひし形状のピンで固定されています。



3 ピンは図の矢印位置に固定されています。ピンの位置を意識しながら手前にゆっくり引くことでピンの固定が外れます。プラスチックパーツはあまり頑丈なものではないので作業は慎重に行ってください。



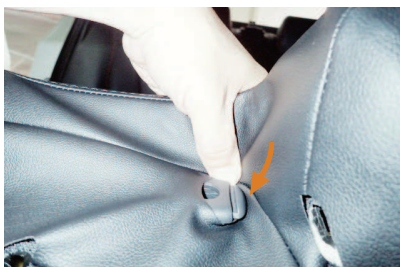
4 全てのピンが外れると、プラスチックパーツが図のように外れます。この状態からカバーの装着を行っていきます。



5 カバー背面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



6 10ページ1番で外した生地をめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。



- 7 ヘッドレストの台座を取り出します。まず片側の台座のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 10 シートの背面からも同様に生地を馴染ませていきます。生地の縫い目部分をシートの頂点に合わせるようにしていくと、よりシートの形状に馴染みやすくなります。



- 8 生地の伸びを利用して、台座を取り出しません。



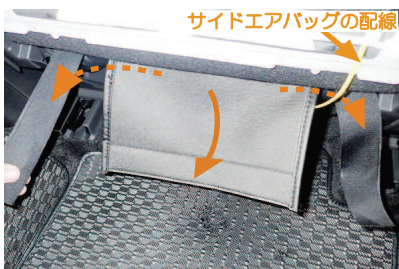
- 11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます



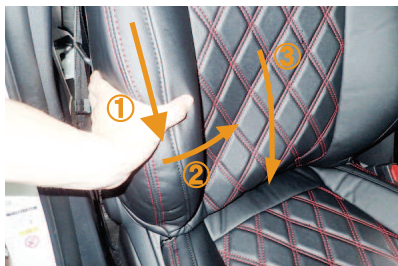
- 9 シート先端部分の突起した形状に、生地を添わせるようにして馴染ませていきます。このスポーツシートの形状ではかなり重要な作業になります。ピンの穴位置とカバーの加工穴の位置も意識して生地を馴染ませて下さい。



- 12 カバーの両端に付いているマジックテープをシートの端からでは隙間が大変狭いためシートの中央に寄せて入れ込みます。この後マジックテープをシートの背面から引き出す際に、マジックテープがねじれていないように注意して下さい。



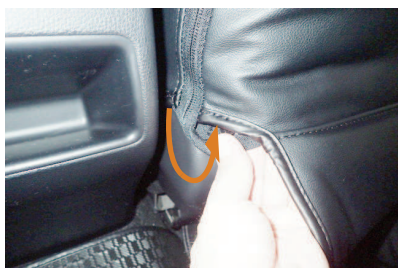
- 13 入れ込んだ生地とマジックテープをシート背面から引き出します。マジックテープはシートの背面中央部分から少し引き出して図のように端に寄せて引き出します。



- 14 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。下側に余った生地を、13番同様カバーの背面から引き出して、生地をよりシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返し行って下さい。



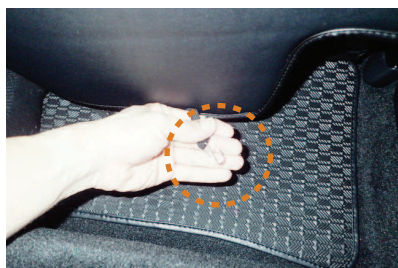
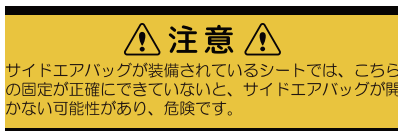
- 15 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



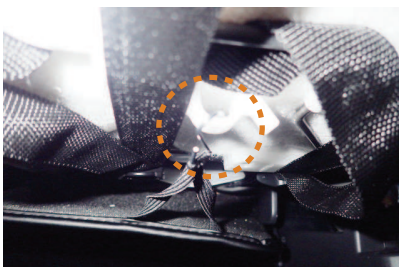
- 16 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 17 13番で引き出した生地・マジックテープを、カバーの背面下とマジックテープで固定します。



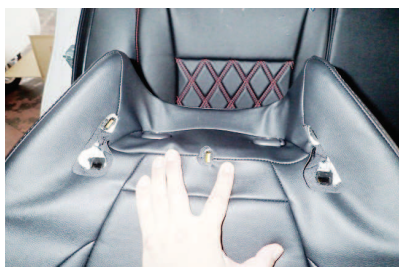
- 18 カバー背面下のゴムに付属の金属フックを付けます。



- 19 金属フックはシート裏の10ページ1番で外した生地を固定していたフックに引っ掛けて固定します。



- 22 プラスチックパーツを固定出来たら、周りの浮いている生地をプラスチックパーツの中へ入れ込みます。



- 20 プラスチックパーツを元に戻します。カバーの加工穴とプラスチックパーツを固定するピンの位置が合っているかを確認します。



- 23 プラスチックパーツのピンは元から外れやすいものです。生地を挟み込むことで更に外れやすくなります。シートカバーは生地の厚みを最小限に抑え、プラスチックパーツの周りに負荷が掛かりにくいようにしているため、図で押さえている位置の周りは生地が多少浮いてくる場合があります。また使用中にピンが外れたり、浮いてきた場合は、その都度押し込み固定して頂くようお願いいたします。



- 21 生地を挟み込みながらプラスチックパーツをシートに戻します。ピンの位置を合わせてしっかりと押し込みます。
※ピンがしっかりと固定できずに浮いてくる場合は、ピン周りの生地が張っているからです。9番・10番の作業を再度行い、ピンの穴位置周りの生地にゆとりを持たせるようにして下さい。

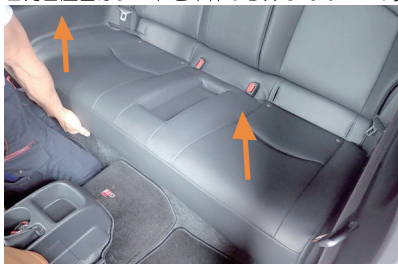


- 24 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法

2列目座面はシートを車体から外してカバーの装着を行います。



- 1 シートはシート裏のフックで車体と固定されています。フックは矢印の位置辺りにあります。シート裏に手を入れて、フックの位置を確認して真上を持ち上げます。フックの固定はかなりしっかりしているので、腰を痛めたりしないように姿勢を整えて作業を行って下さい。



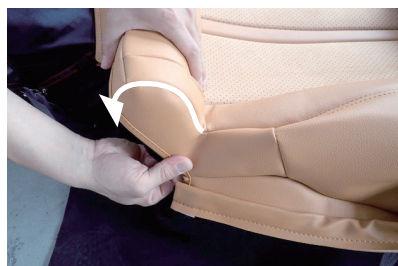
- 2 シート裏のフックを外して、シートの前側を図のように浮かせた状態で手前に引きます。これでシート付け根のフックも外れてシートが車体から外れます。



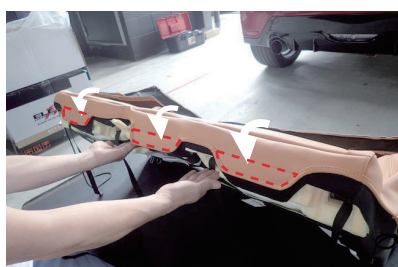
- 3 シートの固定が外れたら、作業のしやすい場所へ運び出します。この際、車体に傷を付けたりしないように、慎重に作業を行って下さい。



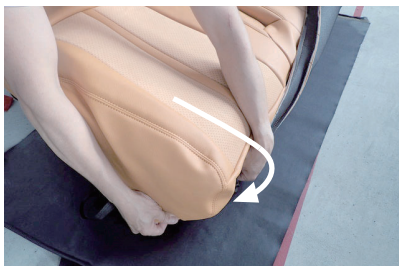
- 4 カバーの裏側に4本のベルトが付いています。4本のベルトをそれぞれチャイルドシート固定用のシートの穴に通して、シートの裏から引き出します。



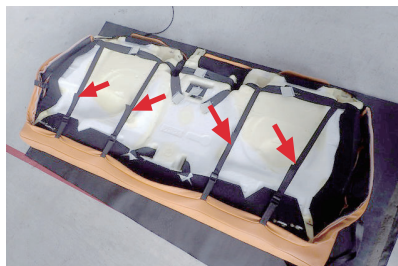
- 5 シートの付け根部分に生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



- 6 シート後ろ側の生地にマジックテープが付いています（3箇所）。図の赤線部分にマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 7 シートの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 10 シートの裏で4番で引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。
ベルトの固定方法は7ページ13番を参考にしてください。



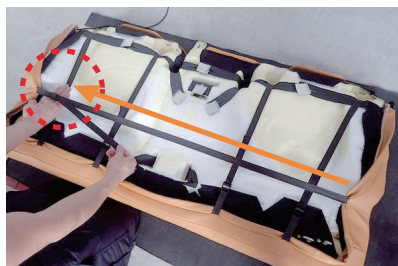
- 8 シート全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



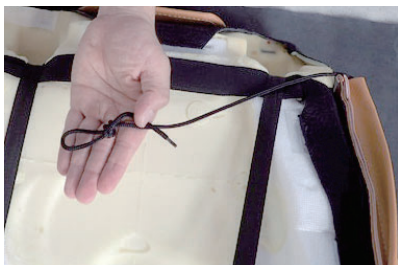
- 11 シート側面の生地を、シートの形状に沿わせるようにして、シート裏側へ引き寄せます。



- 9 4番でチャイルドシート固定用の穴に通したベルトを、表の生地がしっかりシートに密着するように引き出します。
こちらはシート付け根のくぼみをはっきり出すのに重要な作業になります。



- 12 11番で引き寄せた生地が付いているベルトを、反対側にあるバックルに通して固定します。



- 13 カバーの側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



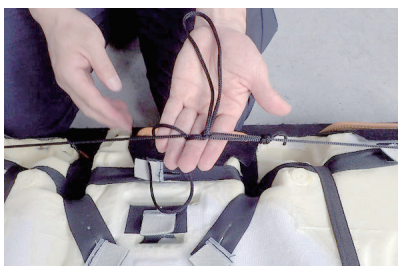
- 16 シート裏は図のようになります。



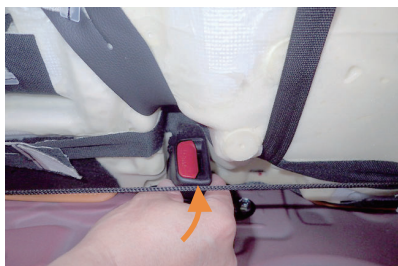
- 14 作った輪にもう片側のヒモを通します。通したヒモを引くと、シート裏のカバーが絞り込まれていきます。



- 17 シートを表側に戻して、カバーのラインを整えます。



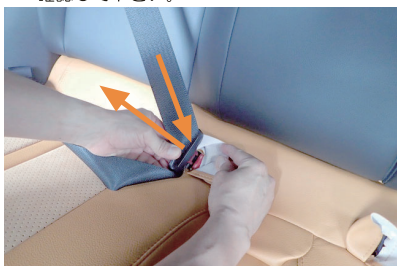
- 15 絞り込んだヒモを緩まないように結び留めます。



- 18 シートを車体に戻します。
※背もたれカバーを装着後、座面シートを戻す手順でも問題ありません。
2番で説明しているシート付け根のフックの位置を意識して、斜めにシートを入れ込みます。
シートの裏からシートベルトバックルを、バックル収納部の穴位置に合わせて入れ込みます。



- 19 シート裏のフックの位置を合わせて、シートを真上から押し込みます。『カチッ』とフックがハマる感覚があるまでしっかりと固定して下さい。また固定後はシートを上を持ち上げて、しっかりと固定できているか確認して下さい。



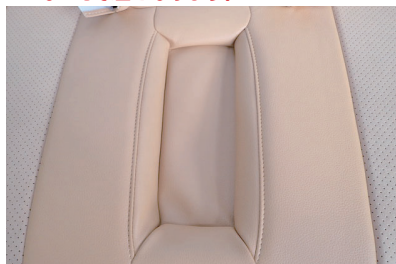
- 20 シートベルトのバックルがシートから少し出ている状態になっているので、シートベルトを差し込み引き出します。



- 21 シートベルトバックルを引き出しながら、バックルが収まるシートのフちに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 22 シートベルトのバックル周りは図のようになります。
※シートベルトバックルは必ず正しく取り出して使用して下さい。この作業を怠るとシートベルトが固定できず重大な事故につながる原因となります。



- 23 シート中央のボックス部分は図のようになります。
 こちらは生地裏から引っ張るなどの固定ができない為、生地が浮きやすくなっています。生地を真上に引っ張ったりしないように使用して下さい。
 シートの形状に馴染ませるためには、重しになるボックスの形状に沿った形のものをしばらく置いていただくと、シートに馴染みやすくなります。



- 24 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

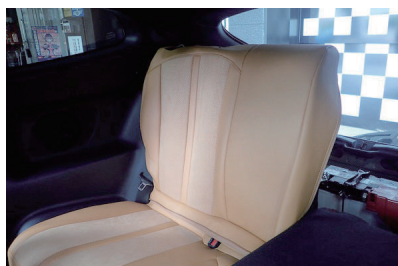
…> 2列目背もたれの装着方法



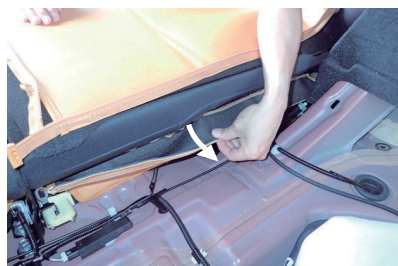
- 1 始めにラゲッジボード・工具ボックスを車体から出しておきます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 カバー背面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。
※座面シートを外して作業を行っている場合は、シートを前に倒した際、生地に傷などが付かないように、布などを敷いて対策して下さい。



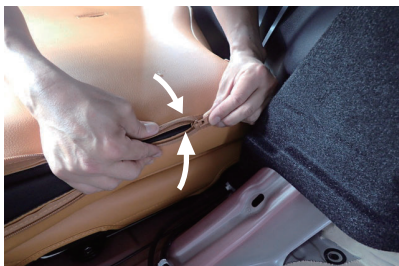
- 5 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 6 カバー内側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 7 5番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をファスナーで固定します。生地を寄せ合いながら慎重に閉じます。



- 10 ヘラで生地を入れ込んでいると、プラスチックパーツのツメが外れてしまうことがあります。その場合は生地を挟み込み、上から押して固定し直して下さい。



- 8 ファスナーを閉じた背面下は図のようになります。



- 11 リクライニングレバー周囲は図のように収まります。



- 9 リクライニングレバーの周りにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっているので、作業は慎重に行ってください。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

…> ヘッドレストの装着方法

1 列目のヘッドレストはフロントプレミアムスポーツのヘッドレストを使用しています。



1 ヘッドレストカバーは平らなプラスチック部材が付いている方が前側になります。カバーの入り口を裏返して、ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



4 ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



2 裏返していた部分を、左右均等に少しずつ引き下げていきます。途中きつくなってきたらヘッドレストのクッションを指で押し込みながら、慎重にかぶせていきます。



5 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



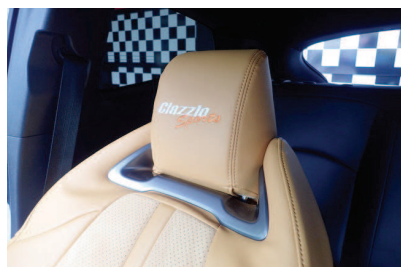
6 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



7 ブラックを固定するとヘッドレストの裏側は図のようになります。



2 ヘッドレストの裏側で両端の生地を寄せてマジックテープを固定します。



8 カバーのラインを整えて、プレミアムスポーツシートの1列目ヘッドレストの完成です。スポーツシートのヘッドレストも形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



3 1列目ヘッドレストと同様にブラックを固定します。ブラックを固定するとヘッドレストの裏側は図のようになります。

2列目ヘッドレスト



1 ヘッドレストカバーは平らなプラスチック部材が付いている方が前側になります。2列目ヘッドレストは図のようにヘッドレストの前側からカバーをかぶせます。ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



4 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

スポーツシートの完成図

※マイナーチェンジ前の画像になります。



1列目



1列目背面



2列目



2列目背面

プレミアムスポーツシートの完成図

※マイナーチェンジ前の画像になります。



1列目



1列目背面



2列目



2列目背面



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLeserの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816